

総合計画／実施計画書  
兼 事務事業評価シート

事業期間 H17 ～ H22

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
5 - 1 - 3	世代・地域を越えて、多様な交流を育む環境をつくる
重点施策ID	重点施策名
- - -	

2. 事業名等	
事業名	国際交流支援事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名	
事業主体	市
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度
根拠法規	
各種の計画への反映 (=根拠計画)	事業ID 06012

3. 事業の内容等	
事業の背景	豊後大野市国際交流協会を設立し、国際交流事業は協会が主体となつて行うこととした。これにより、市民が主体となつて行う国際交流事業を推進し、その支援組織として位置づけている。今後は官民一体となつた地域づくりを目指すものである。
補助事業	名称 補助率 国 県 その他 1/ 1/ 1/
起債の種類	① ② ③

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 国際交流支援事業を行うことで、国際人の育成と多様な交流を通じて国際理解や国際感覚を高める。	(中国) 荊州区研修生の受入 (韓国) 益山市訪問、長安邑ホームステイ事業
【対象】 市民	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容 E 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源計	5,882	4,553	5,050	3,904	3,670	3,670
決算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源計	5,882	4,553	5,050			
計	5,882	4,553	5,050				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 ① ドイツ訪問 ② 韓国益山市受入 ③ 中国荊州区受入 ④ 韓国長安邑受入・訪問等	【実績】 ① ドイツ訪問 ② 韓国益山市訪問 ③ 中国荊州区訪問 ④ 韓国長安邑来市等	【実績】 ① 韓国視察団受入等 ② 中国荊州区研修生受入等	民間レベルでの国際交流事業を推進する。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	国際交流事業の支援件数						
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	民間主導による国際交流事業参加者数						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
目標値			173	180	190	200	
実績値	138	328	173				
達成率			100.0%				
備考							

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	国際交流に関しては、交流したいという市民ニーズはあるが、大半が行政主導で行われているものが多く、ニーズに応えられていない面がある。国では国際化に向け積極的に対応する方針であるが、他市における国際交流事業の予算は削減傾向と伺っている。財政的に厳しい状況もあるが、交流を通じて活性化につながるよう努める。				
行政との関係	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	3	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	豊後大野市国際交流協会が設立され、協会が主体となって活動することにより、行政との役割分担が明確になる。				
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	2	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	友好都市等との交流は今後においても必要であるが、財政的に厳しい状況であるため、ある程度の合理化が必要である。				
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	2	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	市民レベルの交流が広がりを見せつつあり、一定の効果はみられるものの、経費面の課題等があり、手法を検討する必要がある。				
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	2	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	自治体間の交流においては対外的なルールもあり、経費がかかっている状況である。手法等も相互で検討する必要がある。豊後大野市国際交流協会も設立されたため、民間レベルでの交流も含め効率化に努める。				
体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	2	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	豊後大野市国際交流協会の設立により、協会が民間に移行する段階では、体制の見直しが必要かと思われるが、国際交流員や交流都市との関係により、当面は現状の体制で継続して行うことが望ましい。				
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	国際交流事業は、国では国際化に向け積極的に対応する方針であるが、他市における国際交流事業の予算は削減傾向と伺っている。財政的に厳しい状況もあるが、交流を通じて活性化につながるよう努める。 豊後大野市国際交流協会の設立により、国際交流に関する活動がしやすくなった。この協会が民間に移行し、さらなる活発な活動が期待される。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2051 E-mail @bungo-ohno.jp	